

土屋橋

駐車場や川原が広く、安全に川原へ降りられる場所として、土屋橋下流左岸側も使いやすい場所の一つです。この周囲にトイレはありませんが、土屋橋をわたると、旧福岡町の市街地に入るため、公共施設に前もってトイレ使用のお願いをしておくことで対応できます。「流れる水のはたらき」の学習としては、流速のちがいがい等必要な学習はひとつとおりでできますが、この川原はそれに加えて礫の観察にも使えます。このあたりは、庄川扇状地の末端であり、かつては庄川の本流が流れていた時期がありました。そのため、ここより上流の小矢部川流域に出てこない花崗岩礫が混在しています。この川原と、それより上流の川原を観察する機会があれば、この礫種のちがいにも気づかせるのもおもしろいでしょう。なお、小矢部川の流れは他の河川に比べて比較的ゆるく、天候さえ安定していれば、基本的には増水にはそれほど神経質にならなくてよい川ですが、大雨の後は流路が変化したり、深みが生じている恐れもあります。児童には流れの速いところや深いところへいかにないように注意を徹底して、安全に観察しましょう。

観察対象	河川中流部
観察できる人数制限	特になし。
流速の実験の安全性	比較的安全にできる。
バス駐車スペース	あり
トイレ	近くにはない



川原から上流方向



川原の状態



礫の種類

